

遅くなりましたが、新年明けましておめでとうございます。北海道シマフクロウの会がより発展することを期待します。

2024年度の雛数は44羽でした。23年度は47羽、やや少なくなっています。営巣箇所は2023年度39カ所、2024年度は34カ所です。この差はシマフクロウでは毎年営巣するつがいは非常に少ないからです。さらに繁殖のベテランつがいで、何年かに1度は失敗します。それに1巣あたりの雛数も関係します。このことを考えると雛数や営巣箇所の差は大した問題ではありません。それより新規の場所の有無です。2024年度は新規の営巣場所は3カ所もありました。2023年よりつがいが増えたことで、その中の1カ所は1960年代に営巣が確認されて以来、半世紀ぶりに再発見された場所です。半世紀前と言えばすでに減少が始まっていましたが、まだその数が多くいたはずですが、言い換えればその頃と同程度の数が現在はいるといことになります。

現在環境省はシマフクロウの総つがいを100つがいと推定しています。もし確実に100つがいが生息していたら、単独個体は50羽以上いるはずですが。そのくらい単独の個体がいなかつがいは

親子でハンティング
手前・雌
奥・雄
右・幼鳥

伸び
巣立ちした幼鳥



維持できません。よくここまで回復してくれたと思っていますが、これからが一層難しくなり大切な時期に突入します。1900年頃は全道に1000羽以上はいたはずですが。その数に戻すことは不可能かも知れませんが、全道民の理解と協力で、その数に近づけることは可能だと思います。より一層の協力をお願いします。

近年地球温暖化で色々な問題が生じています。海水温の上昇でカラフトマスに異変。サケの遡上も悪いです。他の魚類はどうなるのでしょうか。こういうことを考えると暗い気持ちになりますが、新年を迎えたこともあり、今はこの増えたことを素直に喜びたいです。



雨宿り
左・雄 中央・幼鳥 右・雌



事務局便り

●今回は、直前発行分を設立10周年記念の講演会・パネルディスカッションの内容を特集した、第37・38号合併号としてお届けしたため、発行の間隔が少し空きましたので、昨年6月に開催しました年度総会の審議事項とそれ以降の事業の状況等について掲載いたしております。

●賛助会員ご入会・ご寄付を募集しています

当会の活動趣旨にご賛同いただける法人・個人の皆様の賛助会員ご入会とご寄付を募集しています。当会のホームページからもご入会手続・ご寄付申込手続ができますのでよろしくお願いいたします。

【認定NPO法人北海道シマフクロウの会 事務局】(担当:米谷・佐々木)

〒060-8640 札幌市中央区大通西3丁目11番地 北洋ビル6階 (株)北海道二十世紀総合研究所内 TEL 011-231-8681 FAX 011-231-8683

URL: <https://hokkaido-shimafukurou.org/> E-mail: info@hokkaido-shimafukurou.org

北海道 シマフクロウ通信

特定非営利活動法人 北海道シマフクロウの会 機関誌



第39号



令和6年度通常総会審議内容 (令和6年6月19日開催)

認定 NPO 法人北海道シマフクロウの会 事務局

機関紙発行スケジュールの都合で遅くなりましたが、本年度の通常総会の審議内容要旨についてお知らせします。(当会ホームページにも掲載されています)

令和5年度事業報告

- 第1回理事会・通常総会の開催 (令和5年6月9日)
- 第2回理事会の開催 (令和6年1月24日)
- 機関紙「北海道シマフクロウ通信」の発行 (令和5年5月、9月、令和6年1月)
- クラウドファンディングの実施 (令和5年9月4日～10月24日)
- 設立10周年記念事業
 - 講演会・パネルディスカッション開催 (令和5年9月20日)
 - (株)コンサドーレ連携によるシマフクロウ保護の広報、寄付募集活動実施 (令和5年11月11日広島戦/令和6年3月10日浦和戦)
 - 認定NPO法人カルチャーナイト北海道連携による体験型教育イベント共同開催 (令和5年7月15日)
 - シンボルマークの制定
- シマフクロウ保護活動支援金の贈呈～11先160万円 (令和6年2月27日)

令和5年度決算報告

- 経常収益 : 3,959千円 (正会員・賛助会員会費、寄付金など)
- 経常費用 : 4,955千円
 - 事業費 : 3,976千円 (保護活動支援金、機関紙発行費など)
 - 管理費 : 978千円 (事務局事務委託費、会計管理費など)
- 期末正味資産 : 2,930千円 (次期繰越正味財産額)

令和6年度事業計画

- 機関紙の発行 (年2回、会員のほか道庁など各公共施設等へ配布)
- WEBサイトでの発信 (ホームページ等での活動広報、情報発信)
- 講演会等の開催 (時期未定、シマフクロウ保護の啓発等)
- (株)コンサドーレとの連携 (年2回程度、ホーム戦開催時にブースにて広報・募金活動)
- シマフクロウのはく製製作 (広報のための催事や保護活動の啓発のために活用)
- シマフクロウ保護活動に携わる個人・団体への財政的支援実施
- 保護活動支援金原資募集および保護活動啓発のためのクラウドファンディング実施

令和6年度予算

- 経常収益 : 3,730千円 (正会員・賛助会員会費、寄付金など)
- 経常費用 : 4,389千円
 - 事業費 : 3,307千円 (保護活動支援金、機関紙発行費用など)
 - 管理費 : 1,082千円 (事務局事務委託費、会計管理費など)
- 期末正味資産 : 2,271千円 (次期繰越正味財産額)

新任役員

- 理事 祖母井 里重子 / 長野 実
- 監事 加藤 利器

事務局より

今年も国分北海道株式会社様よりご寄付をいただきました



平成31年以来継続して当会にご支援をいただいている食品卸道内大手の国分北海道株式会社様から、今年も同社が販売する道産酒「島嶽」シリーズの売上金の一部をご寄付いただくこととなり、12月24日(火)に贈呈式が行われました。当日、事務局を訪れた同社諏訪社長様より寄附金目録を頂戴し、当会村田理事長から、シマフクロウ保護活動の支援のため大切に使用させていただき、お礼の言葉をお伝えしました。このご寄付については、今後も引き続きお取組みいただけることになっています。

島嶽ブランド販売本数 1,624本
本年度寄付金額 287,300円

事務局より

クラウドファンディング目標達成ありがとうございました
第6回クラウドファンディングについてのご報告・御礼

生息現場でシマフクロウの保護活動に携わっておられる方々の、給餌や巣箱設置などの活動を財政面から支援することを目的として、令和6年9月10日にスタートした第6回のクラウドファンディング方式によるご寄付の募集につきまして、10月30日までの約2カ月間で、目標額の700,000円を上回る、1,291,500円のご支援を賜りました。

改めまして、皆様方からの多大なるシマフクロウ保護へのお力添えに深く感謝申し上げます。

第6回クラウドファンディング実績

目標額 700,000円
ご支援額 1,291,500円
(ご支援延べ54口 達成率184%)

●ご寄付額3万円以上の方のお名前は、弊会ホームページ上に掲載させていただいております。

事務局レポート

円山動物園でシマフクロウの観察会開催

令和6年10月6日に、シマフクロウ保護への理解を深めもらうため、環境省北海道地方環境事務所との共催で、札幌市円山動物園にてイベント「神の声！？本物のシマフクロウの声を聞いてみよう」が開催されました(他の共催先:札幌市円山動物園・北海道コンサドーレ札幌・NPO法人シマフクロウ基金)。

当日はまず、いずれもシマフクロウを素にしたキャラクターであるコンサドーレのマスコット、ドーレくんと環境省所有の着ぐるみブラッキーが登場、来園した子供たちや家族連れと触れ合ったり、一緒に記念撮影をしたり、チップを集めてシマフクロウパネルを完成させるゲームに興じたりとしっかりシマフクロウをPRしました。

夕方、イベント参加者の親子を中心とした9組22名は猛禽類舎のシマフクロウゲージ前へ移動、展示中の2羽のシマフクロウを観察しながら動物園の担当の方の説明を聞いたり、シマフクロウの羽



根を手にとって感触を確かめたりしました。

日没近くなると、動物園に沿って伸びる円山原始林の登山道を皆で歩き、動物園の裏手でシマフクロウが鳴くのを待ちました(シマフクロウは日没直後辺りによく鳴くそうです)。待っている間、本イベントの監修をされた、シマフクロウ保護活動家である北海学園大の早矢仕教授が、子供たちからの質問に答え、シマ



フクロウに関する知識を深めました。しばらく登山道に留まり、シマフクロウの鳴き声を待ちましたが、この日は残念ながら鳴かず、動物園に戻ってイベントは終了となりました。

鳴き声こそ聞けませんでした、子供たちのシマフクロウを見つめる真剣な目やシマフクロウをよく知ろうとする質問に現れた熱意から、シマフクロウを守ることの大切さをきちんと次の世代に伝えていかなければならないという思いを強くした1日となりました。

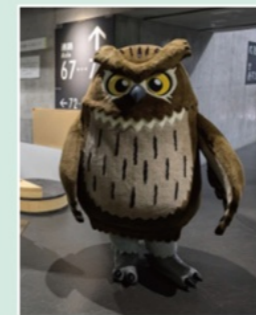
今後も各関係先とも連携を図りながら、シマフクロウ保護の意義や重要性を広く発信して参ります。

事務局レポート

北海道コンサドーレ札幌連携イベント第四回

令和6年11月3日
セレッソ大阪戦ブース出展

ご支援ありがとうございました



北海道コンサドーレ札幌との連携イベント第四弾として、去る11月3日(日)開催のセレッソ大阪戦にて、大和ハウスプレミストドーム内に特設ブースを設置願ひ、シマフクロウ保護活動の情報発信とともに活動支援のための募金をお願いしたところ、約500名のファン・サポーターにお立ち寄りいただき、120,264円のご浄財をご寄付いただきました。

今回の活動にも北海学園大学 早矢仕教授、日本野鳥の会、環境省北海道地方環境事務所、同釧路自然環境事務所の皆

様にご協力いただきました。また、コンサドーレの「ドーレくん」や「コンサドーレズ」もブースでの呼びかけに加わってください、特に第三回に続き登場の釧路自然環境事務所所有のシマフクロウの着ぐるみ「ブラッキー」は来場の方々に大人気でした。皆様の温かいご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今後ともシマフクロウ保護へのご理解、お力添えを心よりお願い申し上げます。

新しいシマフクロウのはく製デビュー

今回のイベントに際し、今般新たに入手したシマフクロウのはく製を展示させていただきました。これまではご協力先からお借りしたものを展示しておりましたが、これからのイベントや講演等の機会には、この新たに加わった仲間をご紹介させていただきます。

